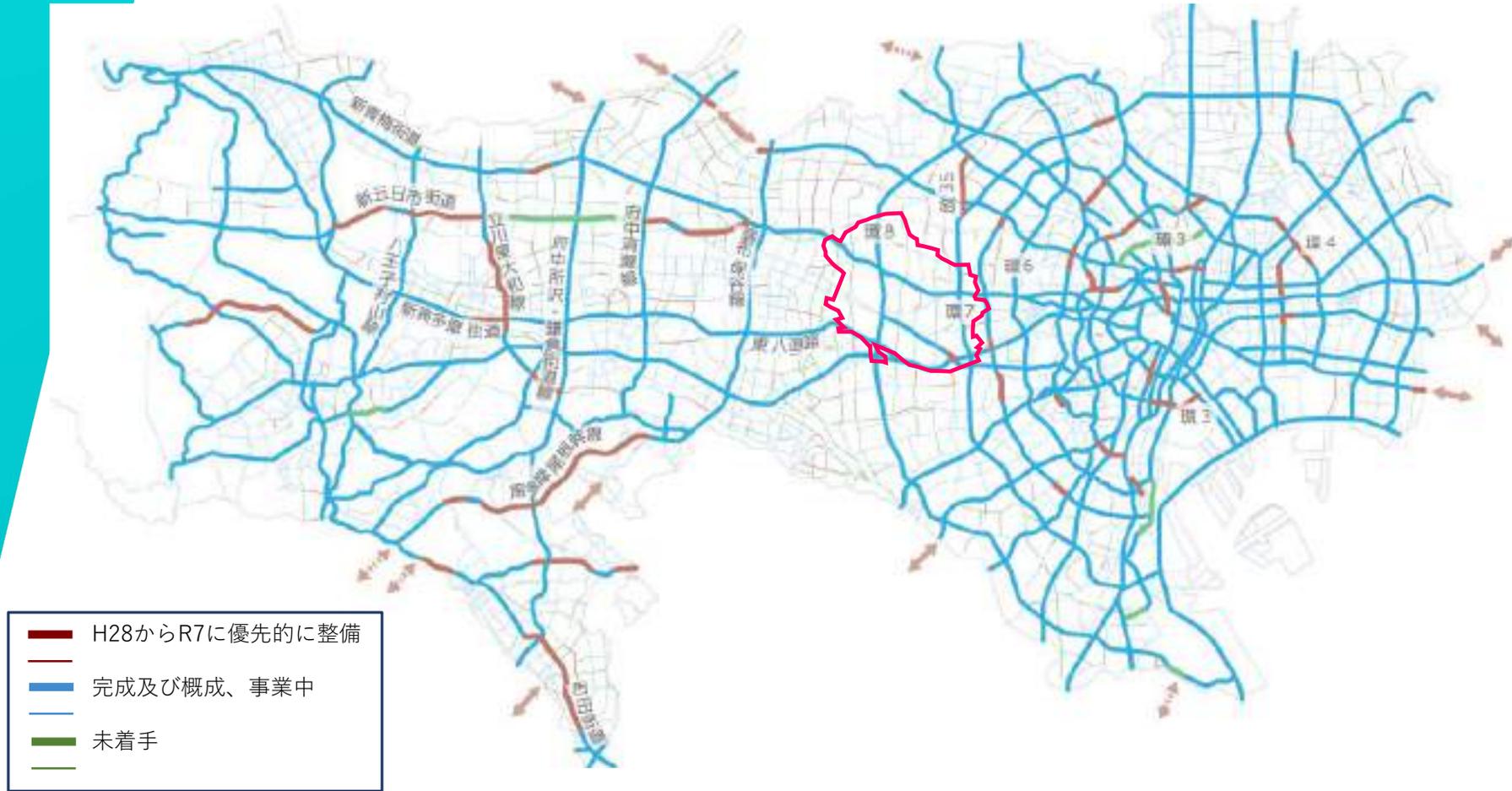


A large teal geometric shape, resembling a triangle with a pointed right side, is positioned on the left side of the slide. It points towards the center-right.

防災から考える 都市計画道路

都市整備部 都市計画道路担当

1. 都市計画道路とは



○交通機能

⇒人や物資等、都市における円滑な移動の確保

○市街地形成機能

⇒都市構造や街区の形成

○都市防災機能

⇒防災性"UP",避難所への避難路



青梅街道



環状七号線

2. 阪神淡路大震災（1995年1月）



写真提供：神戸市



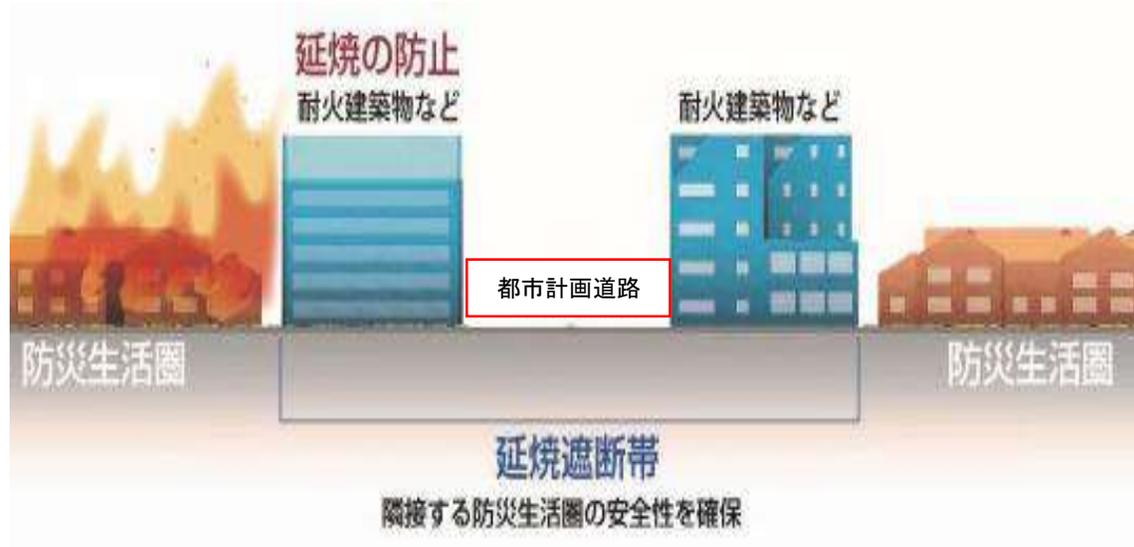
写真提供：神戸市

- 徒歩での避難・緊急車両の通行不可、物資の輸送・医療措置が困難

3. 都市計画道路による防災機能



都市計画道路補助132号線の例



- 救援救助活動の確保

⇒円滑な救援・救助活動や緊急物資の輸送に必要な活動空間の確保

- 延焼遮断帯の形成

⇒沿道の建物の不燃化率が満たされることで、効果を発揮

延焼遮断帯とは・・・
火災の延焼を阻止する空間

不燃化率とは・・・
延焼に耐性を持つ建築面積の割合

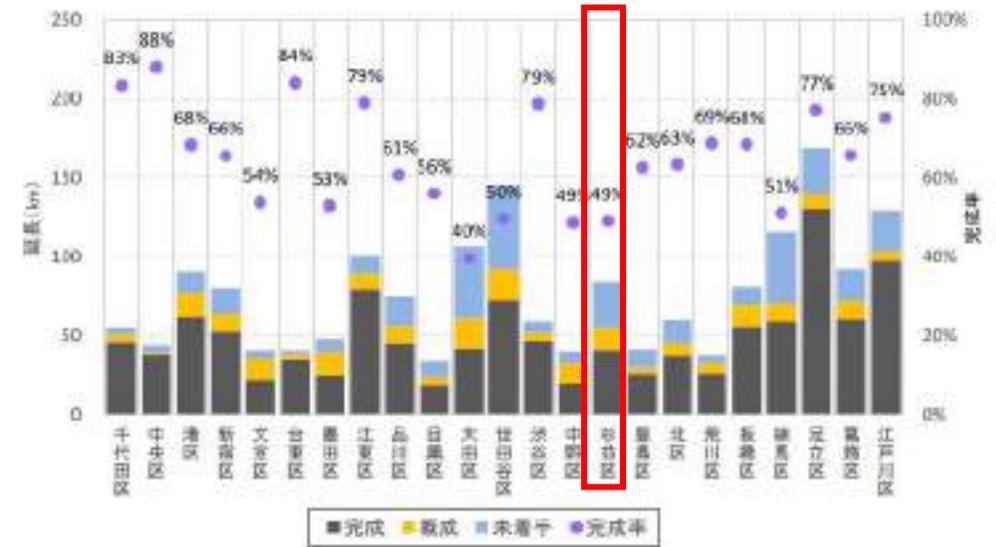
4. 杉並区の現状

- 区内の都市計画道路 34路線 約84km
- 第四次優先整備路線 区施行 4路線 約2,250m
都施行 6路線 約3,690m



整備状況	—	整備済
	—	事業中
	—	計画決定
優先整備路線	—	区施行
	—	都施行

23区中
完成率22番目



	東京都	杉並区
延長	約3,213km	約84km
完成率	64%	49%

出典：「都市づくりのランドデザイン」、「東京における都市計画道路の在り方に関する基本方針」より作成

5. これからの道路整備



従来の機能に加え、
「クルマ中心」⇒「ヒト中心」

- ・幅4m未満の道*1
- ・建築時のセットバック*2

杉並区 狭あい道路の拡幅整備

*1 建築基準法 第42条第2項
*2 建物を建てる際に、道路の中心から2メートルセットバックすることで建物を建てるができます。



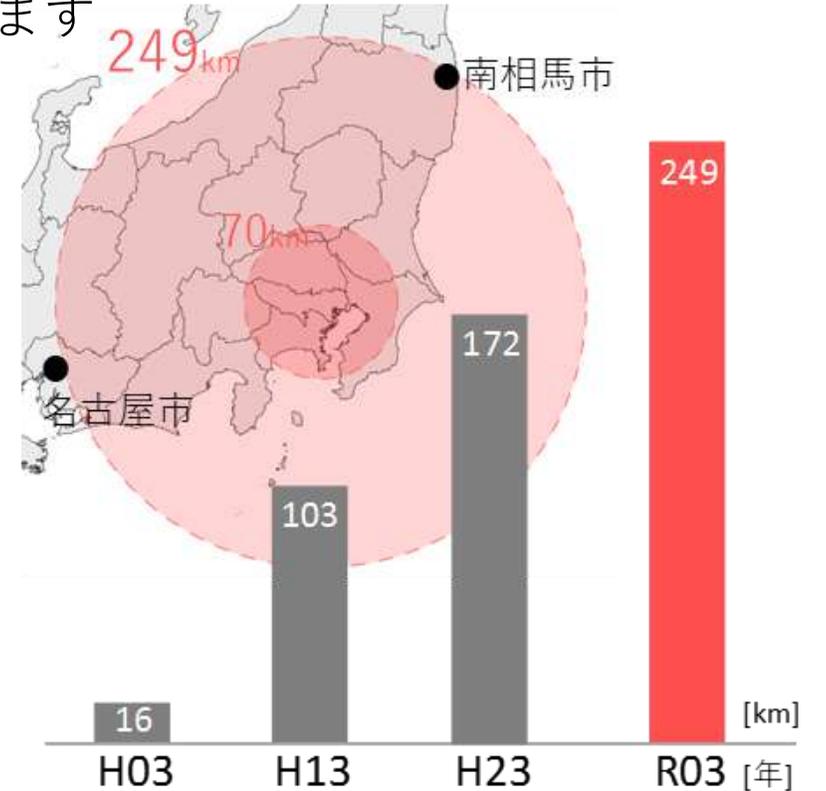
もっとも整備を進めています - 事業開始から249km*1 -

(平成元年度～令和3年度)

- 23区の狭あい道路整備事業で最も整備が進んでいます*2
- 倒壊の危険がある塀も更新が進んでいます
- 区からの働きかけや条例改正、サポートの充実を進めています



道が広がった!
危険な塀がなくなった!
隔切りで見通しが良くなった!



*1 実際に整備した箇所距離。通常、道の片側(全307km)ずつ整備するので、両側を整備すれば、道の長さの2倍の距離(全614km)を計上します。

*2 23区アンケート(令和3年)中央区・千代田区は狭あい事業なし 世田谷区・墨田区は回答なし

もっとも早い条例化(平成29年1月施行) (支障物件禁止・代執行)

狭い道の私物撤去へ条例

杉並区、来年1月施行へ

念規定を設け、第三者機
関を設置。来年1月から
行政による強制撤去を含
む実効性を持たせる。
区議会が可決すると、
道路拡幅へ自治体が財産
権の抑制が大事になる

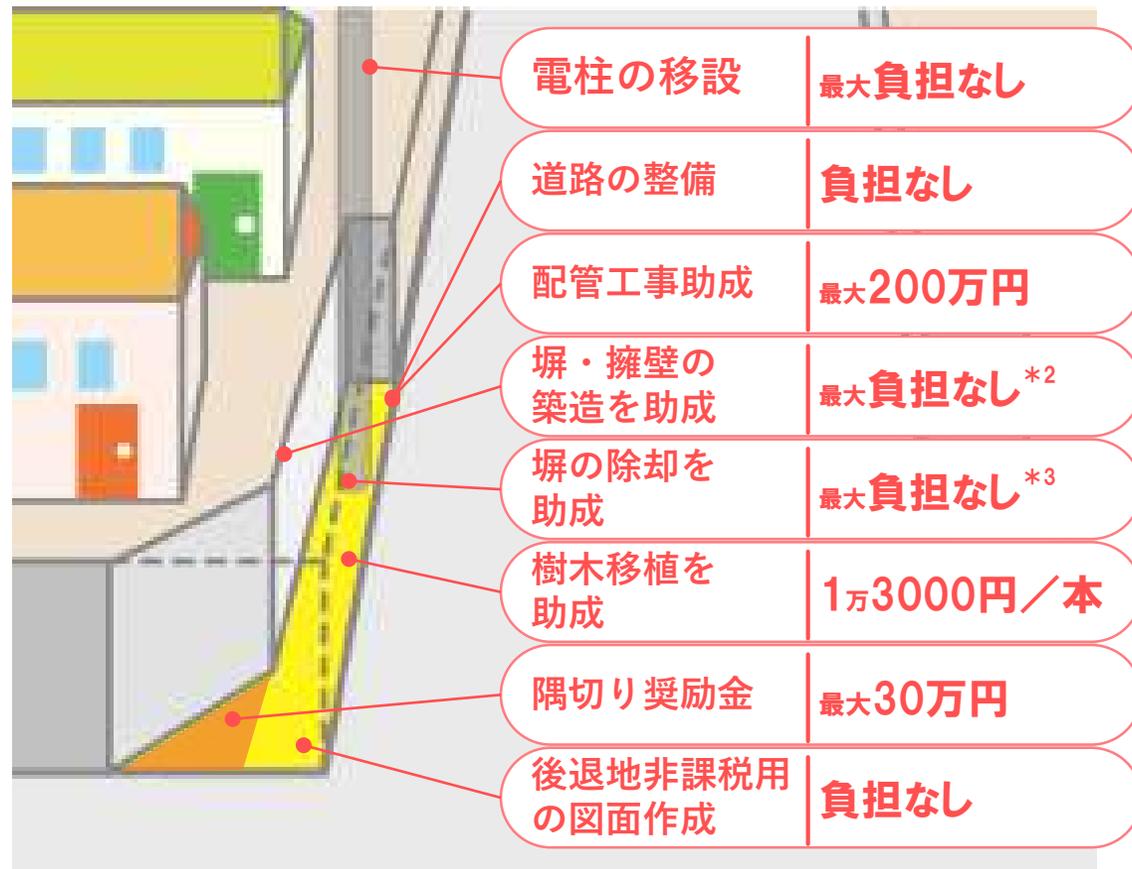


杉並区、来年1月施行へ

第三者機関で審査

▲平成28年5月25日 日経新聞

もっとも充実した整備サポート*1



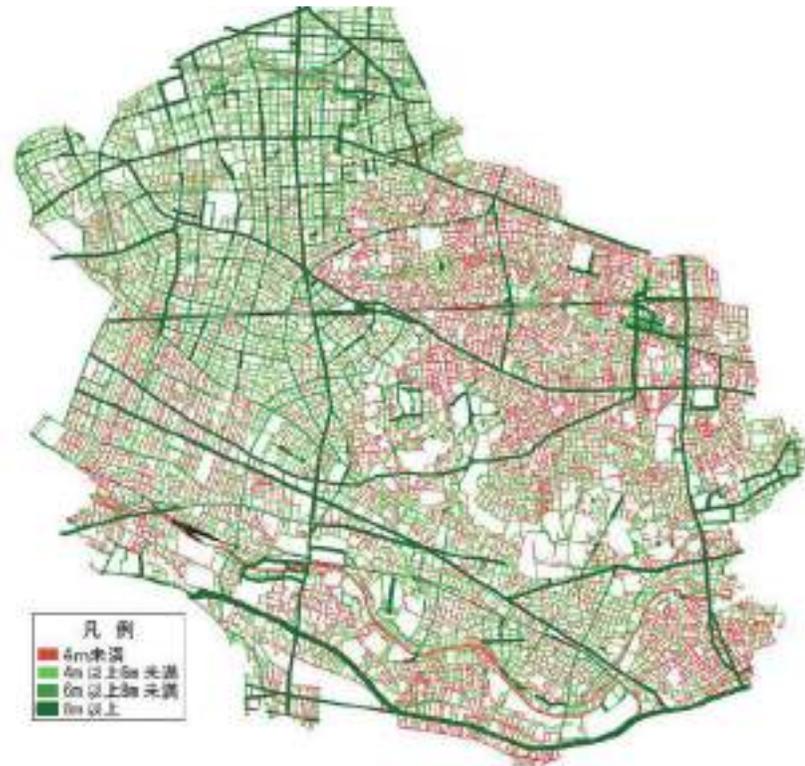
*1 23区および府中市アンケート(中央区・千代田区は狭あい事業なし 世田谷区・墨田区は回答なし)、「狭あい道路解消のための取組に係る調査及び事例集(令和2年7月 国土交通省)」

*2 重点整備路線または整備地区以外は費用の2/3または5万6千円/mのいずれか低い額を助成

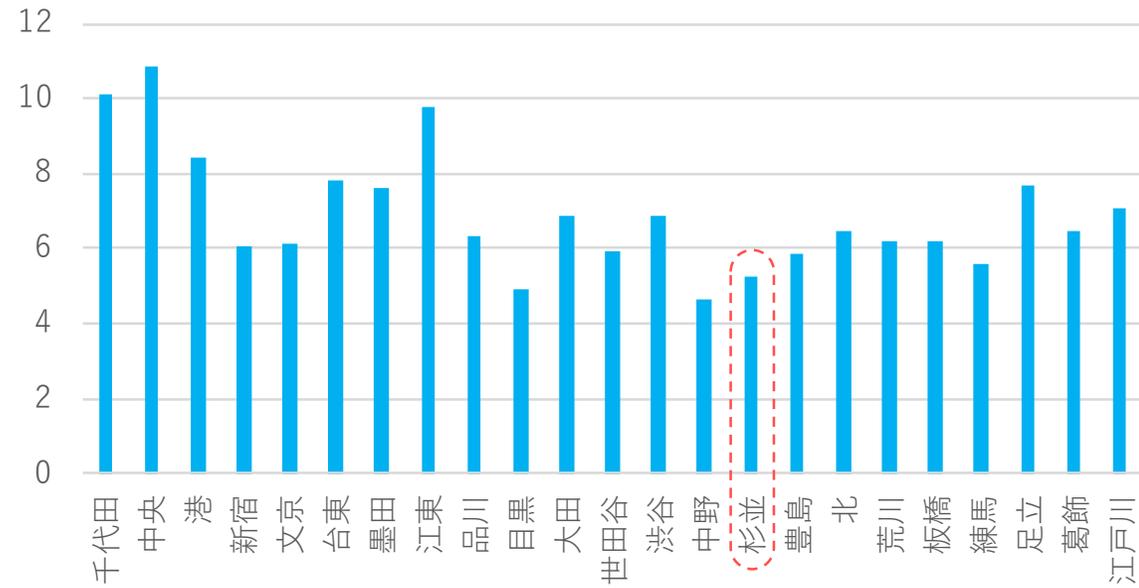
*3 重点整備路線または整備地区以外は費用の2/3を助成

まだ整備が必要な狭い道が多い

- 区内全ての道路（区道・私道）の約5割が4m未満の狭い道路*1
- 23区の中で3番目に区道の平均幅員が狭い*2



特別区道の平均幅員

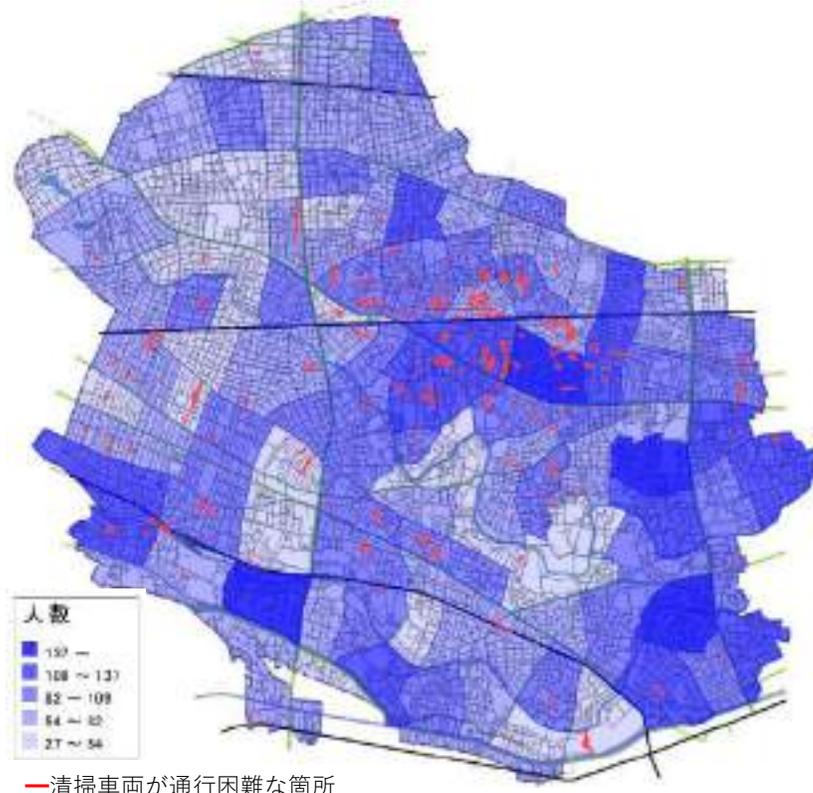


*1 「すぎなみの道づくり（道路整備方針）」（H29年3月）

*2 「特別区土木関係現況調査」（令和2年4月時点）

狭あいな道路が福祉・清掃車両の妨げとなっている

- 狭い道が多いエリアには**清掃車両が通行困難***¹な箇所が多い
 - 狭い道が多いエリアには介護や障害により支援を要する方*²が多い
- **狭あい道路が清掃や福祉車両通行の妨げとなる**



*1 GISデータ「可燃ごみ狭小エリア（清掃事務所）」
*2 「地域の手」登録者（令和4年6月時点）

耐震化 不燃化 の取組

首都直下地震等による被害を
できるだけ減らすために



An aerial photograph of a densely populated urban area, likely a city center, with a prominent railway line running diagonally across the scene. The buildings are tightly packed, and the overall color palette is muted, suggesting a historical or archival image. The text is overlaid in the center of the image.

今、首都直下地震が発生したら…？

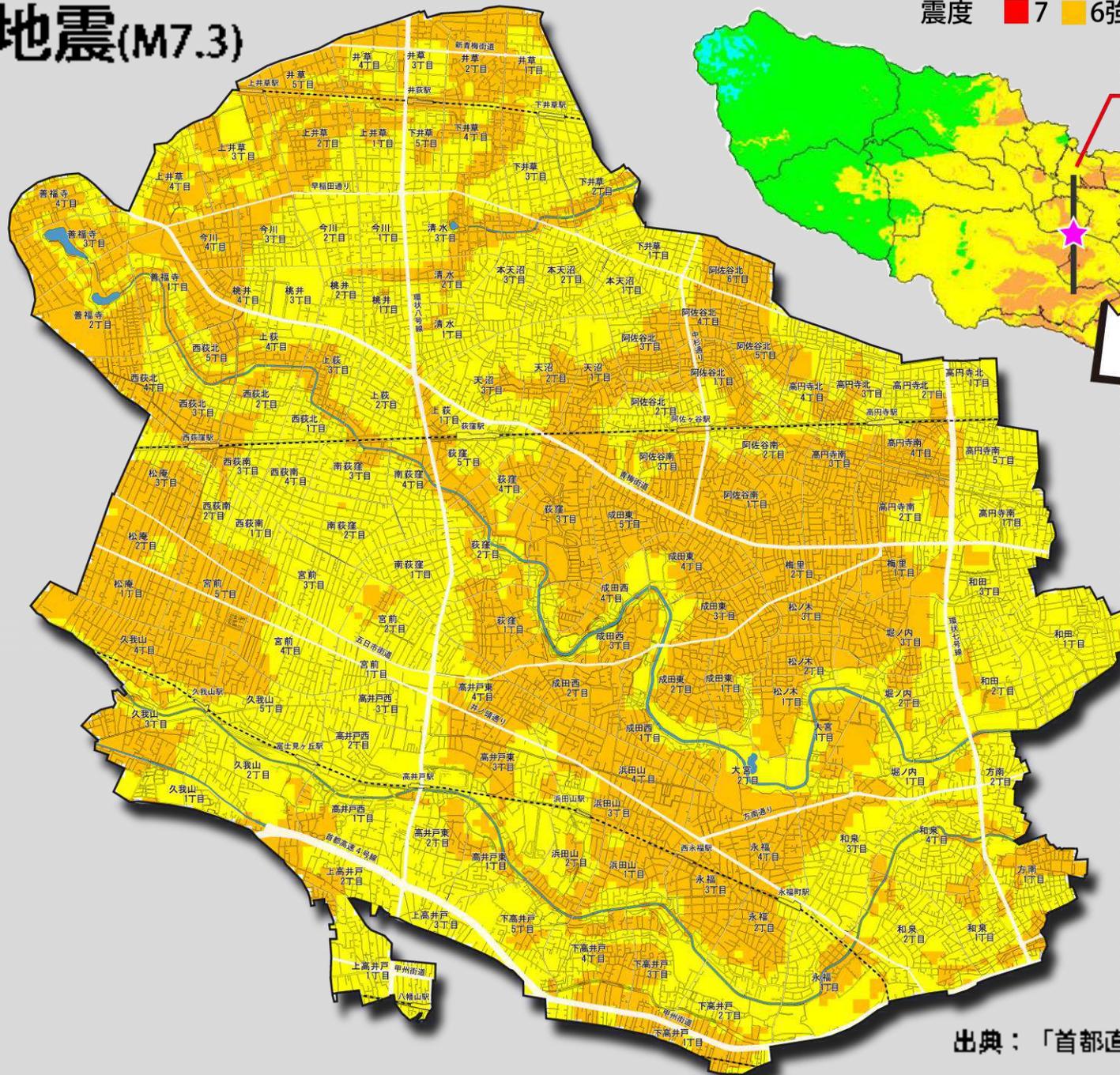
多摩東部直下地震(M7.3)

震度予測図

被害想定一覧表 (抜粋)

冬・夕方、風速8m/s

	東京都	杉並区
面積	1,783km ²	34.1km ²
建物棟数	2,804,582棟	130,614棟
全壊棟数	70,108棟	3,233棟
半壊棟数	222,894棟	10,676棟
焼失棟数	91,408棟	10,342棟
死者数	4,986人	316人
負傷者数	81,609人	3,410人
避難者数	2,755,568人	122,469人

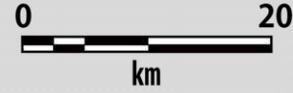


震度 7 6強 6弱 5強 5弱 4 3以下

多摩東部直下



拡大



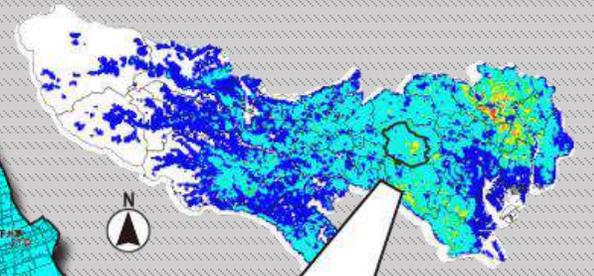
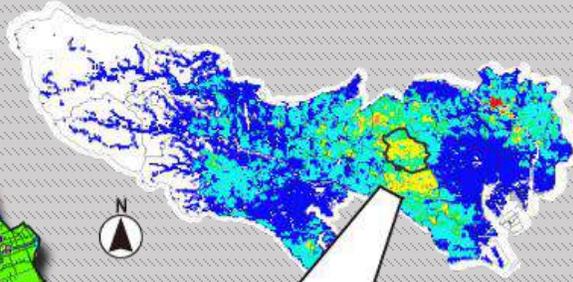
出典：「首都直下地震等による東京の被害想定報告書」
(東京都防災会議) / 令和4年度公表

多摩東部直下地震(M7.3) 建物被害想定図

焼失棟数分布図

冬・夕方、風速8m/s

全壊棟数分布図



拡大

拡大



□ : 250mの区画ごとに被害棟数を取りまとめ、想定される被害状況を見る化。

1区画当たりの建物の被害想定棟数

■ 100棟-
 ■ 50-100棟
 ■ 20-50棟
 ■ 10-20棟
 ■ 1-10棟
 ■ 0-1棟
 0棟

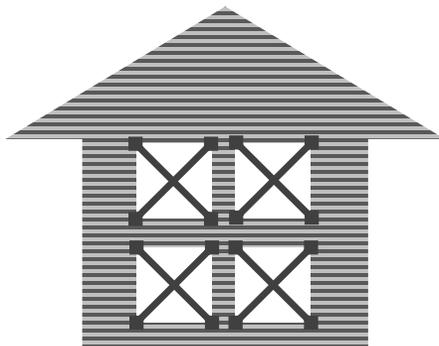
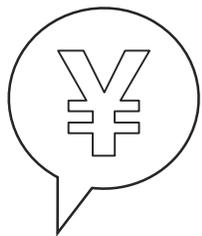
建替えや耐震改修
をする所有者に対し、**助成金**を出し
ています。



老朽化した
建物



除却
~150万円



耐震改修
戸建て：100~250万円
マンション：1,000~4,000万円



不燃化建替
100~250万円



出典：神戸市

倒壊した建物が幹線道路を塞いでおり、緊急車両の通行の妨げになっている。



出典：神戸市

建物倒壊により出火し、延焼している。

木造住宅密集地域の改善の取組事例

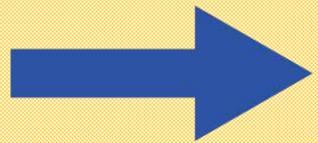
阿佐谷南・高円寺南地区の防災まちづくり取組

防災上有効な道路の整備

主に **建替え時に合わせて拡幅整備** に協力してもらう（修復型のまちづくり）

現況の道幅

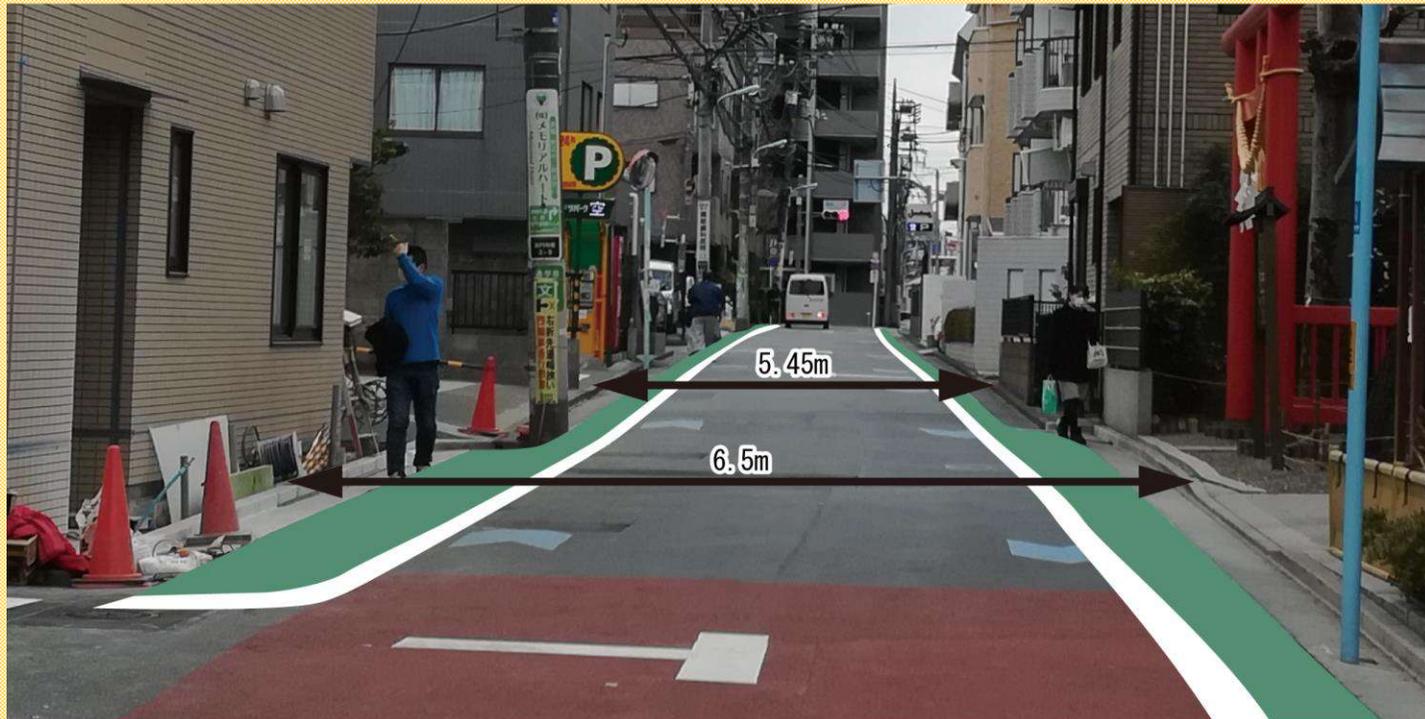
5.45m



計画の道幅

6.50m

- 優先整備路線（馬橋通り / 青梅街道～杉六小学校）拡幅整備状況例



令和元年度に両側整備が完了した箇所（猿田彦神社前 / 外側線と路側帯のカラー舗装はイメージ）

オープンスペースの確保

阿佐谷南・高円寺南地区

防災まちづくりニュース

No.29

令和4年3月 杉並区 都市整備部 市街地整備課 発行

（仮称）阿佐谷南一丁目公園の整備案がまとまりました！

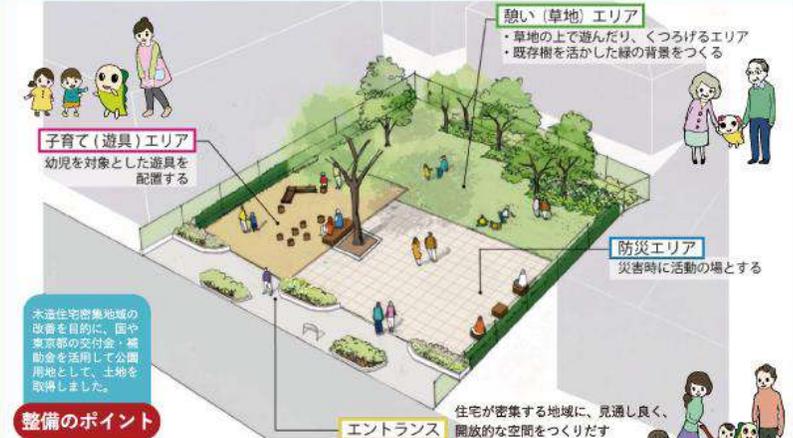
杉並区では令和4年度中の整備工事・開園を目指し、「（仮称）阿佐谷南一丁目公園」の整備内容について、検討を進めてきました。

昨年中に開催した説明会（オープンハウス形式）や「阿佐谷南・高円寺南地区まちづくりを進める会」でいただいた皆様からのご意見も踏まえ、この度、整備案がまとまりましたのでお知らせします。



公園整備のテーマ

たせだい つど いこ えんがわ
多世代が集い、憩える『まちの縁側』



来年は関東大震災発生から100年

過去の教訓を風化させない



阿佐谷南・高円寺南地区防災まちづくりイベントの様子



阿佐谷南・高円寺南地区まちづくりを進める会の活動の様子



SUGINAMI CITY

杉並区の

防災対策の概要



杉並区 防災課

防災対策の基本的な考え方

「自らの生命は
自らが守る」



自助

「自分たちのまちは
自分たちで守る」



共助

公助

「行政機関、防災関係機関が
連携・協力して、地域の
安心・安全を守る」



防災対策の紹介 1

■ 感震ブレーカーの設置支援



東日本大震災時に発生した火災の原因



■ 防災用品のあっせん

- 食料、水、簡易トイレ、家具転倒防止器具など



防災対策の紹介 2

- 防災会へのC級・D級ポンプ、スタンドパイプ、簡易水道消火器具（ハリアー）の貸与
- 街頭消火器の設置



防災対策の紹介 3

■ 防災訓練への支援

- 震災救援所の訓練
- 防災会の訓練
- 総合震災訓練



起震車体験・スタンドパイプ実演

このあと、、、体験・実演

エレベーターで1階におります。職員の指示に従ってください。

A班
起震車体験



過去の大きな地震を体験します。
4人1組(3分弱)

B班
区職員による
実演



スタンドパイプの組立て
消火ホース&応急給水栓
の説明します。